

プレスリリース

第27回

少年少女の詩「江間章子賞」の作品を募集します

自然や日常生活で心に浮かんだ情景を詩で表現

【発表の要旨】

八幡平市では、市ゆかりの詩人で名誉市民である「江間章子先生」の功績を顕彰するため、平成10年度に少年少女の詩「江間章子賞」を創設し、毎年作品を募ってきました。

今年も、児童生徒が先生の詩の心を引き継ぎ、豊かな心を培うことを願い、県内小・中学校を募集範囲として作品を募集します。

- 主催** 八幡平市
- 主管** 八幡平市教育委員会、八幡平市児童詩研究会
- 後援** IBC岩手放送、岩手日報社
- 応募資格** 岩手県内小・中学校の児童生徒
- 応募内容** 身のまわりの四季折々の自然(山・川・海・草木など)、友だち、家族、手伝いなどの生活から生まれた「思い」、八幡平市の夢や未来を描いた詩
- 応募締切** 8月23日(金)
- 入賞** 部門 小学校(低学年・中学年・高学年)、中学生の計4部門
賞 江間章子賞(各部門1編)
八幡平市長賞(各部門1編)
八幡平市教育長賞(各部門1編)
入選(各部門5編)
- 授与式** 日時 令和6年11月3日(日)
場所 西根地区市民センター
内容 江間章子賞、市長賞、教育長賞の受賞者(計12名)に賞状授与
選考委員長の審査評
江間章子賞受賞者(4名)の詩の朗読
※ 八幡平市民憲章推進大会内で実施します。
※ 受賞者には、安比塗の賞状を授与します。



市ゆかりの詩人 江間 章子先生
八幡平市名誉市民

詩人。大正2年3月13日、新潟県高田市(現上越市)生まれ。

大正4年に父が急逝し、少女時代を母の郷里、平館村(現八幡平市平館)で過ごした(平館小学校に6年生まで在籍)。

「夏が来れば 思い出す はるかな尾瀬・・・」で有名な「夏の思い出」の作詞などで知られ、現代詩人会会員、日本文芸家協会、日本音楽著作権協会評議員としても活躍した。

平成17年3月12日、東京都内の病院で逝去(享年91歳)。

西根第一中学校校歌や、平館小学校創立100周年記念讃歌を作詞したほか、平成10年に創設した少年少女の詩「江間章子賞」の初代選考委員長も務めた。

西根町名誉町民
(平成7年11月2日)
八幡平市名誉市民
(平成17年9月1日)
東京都世田谷区名誉区民
(平成4年)
群馬県片品村名誉村民(平成10年)

【担当】

教育委員会事務局教育総務課

総務係長 橋場 忍

電話 0195-74-2111 (内線 1362)